



松村子ども神楽の会のみなさん

- 年頭のあいさつ..... P2
- 11月会議..... P3
- 12月会議..... P4・P5
- 一般質問（13名）予算要望書..... P6
- 小学6年生傍聴記..... P20
- 傍聴記・学生が語る未来の小布施！..... P24



雁田山希少種シリーズ

【マルミノウルシ トウダイグサ科】

マルミノウルシは、地味な花だが、絶滅危惧ⅠAに指定されている貴重種。長野県では、小布施など、3カ所でしか生育が確認されていない。

栗ガ丘 記・清水照雄

傍聴記



PTA役員として議会傍聴に初めて参加しました。ケーブルTVの中継をたまに見ているから行く必要もない（笑）との理由で自ら行くということはありませんでした。

間接民主制の縮図

「大半の国家が議会民主制である現在、我が町でも選挙によって選出された議員が議会においてもその職務を全うすることは当然の責務であり、傍聴に行かなくても信頼に応えてくれるはず。」と自分を言いくるめてたりして：。

今回の一般質問の中で冒頭に小学校に関する事案があり興味本位で午前中から傍聴しましたが、

議場には町政について真摯に取り組む空気が満ちていました。やはりライブは違うね、といった感です。いま国会では秘密保護法をめぐって揺れています。それが郷土を思う気持、権利を守る気持の強い表れであり、それだけ愛しているんだとTVを見ながら感じていました。それと同じ匂いを町議会でも感じる事ができて頼もしく感じると同時に、今後もし決して衆愚政治に陥ることなく活動してほしいと感じました。

開始1時間程して偶然にも社会見学の見学が多数傍聴席に訪れ、議会を聞き入っていました。彼らの熱心な眼差しを見て、「町の未来はこの児童たちのためにある」ということを改めて気づかされました。そして児童達に「これが間接民主制の縮図です。政治を絶えず注視しなさい！」と叫びたかったのですが、守衛に後ろから羽交い絞めにされるのでやめときました。（笑）

発行責任者		議長 関谷 明生
議会広報常任委員会		委員長 原 勝巳
委員		山岸 裕始
副委員長		小林 一広
委員		富岡 信男
委員		川上 健一
委員		大島 孝司
委員		関 悦子

【表紙の写真】

晩秋の農村散策ウォーク歓迎松村子ども神楽の会とモスクワオリンピック50km競歩金メダリストのハートヴィッヒ・ガウダー氏

学生が語る未来の小布施！

農業を深く考えてみて思ったこと

中野立志館高校（定時制学科2年生）

大野 泰生



僕は、昨年の4月に埼玉から小布施町に引っ越

してきました。山々に囲まれていて自然が豊かな良好な環境に移りたかったのと、高校を決めるうえで小学校4年生から続けている柔道を続けられることが重要でした。今は昼間、正麵会社でアルバイトをしながら夕方学校に通っています。

土日は柔道の練習や浄光寺でお手伝いをしていきます。浄光寺でお手伝いをするきっかけは、お母さんが「お寺で掃除をしたりお手伝いをしたりすれば、お婆ちゃんも喜ぶと思うよ」と言ってくれたからです。副住職さんに「お手伝いをさせてください」と言ったら快く引き受けてくれました。

僕は小布施に来て本当に良かったです。埼玉にいた時よりも充実して楽しい日々を過ごすことができています。また、最近では町で行わ

れるさまざまなイベントに積極的に参加するようにしています。まちとしゃべらなで大学生との交流会で知り合った大學生に誘われて、小布施若者会議にも参加しました。参加したテーマは「食と農」でした。今回僕は、農業の事情について今まで知らなかったことなどを知ることが出来ました。僕の家族は野菜・果物が好きなのでよく地元野菜を買っています。お話を聞いた中で僕が思ったのは、もっと生産者の方々の苦勞を感じ

るべきだということだと思います。僕たち消費者は、安いもの、得なものを買い求めすぎだとお話を聞いて思いました。もっと日々農家の方々に感謝の気持ちをもち、おいしい作物をいただいています。今回の若者会議に参加してみると高校生より社会人の参加者が多かったです。今回高校生の僕にとつて大変価値のある体験ができたので、もっと高校生にも興味を持ってもらい参加者が増えてほしいと思います。

編集後記

12月本会議場に、栗ガ丘小学校6年生の皆さんと、偶然にも栗ガ丘小学校PTA役員の方も傍聴されました。私どもも緊張の中、日頃よりテンションも上がり後日感想文を寄せられた内容には鋭くも思いやりの言葉があり、今すぐにできる善行、中学へ行ったら行動を起こそうと質問内容が即理解され大変うれしく思いました。子ども達の目は地域住民の想いであることを更に強く感じました。またお忙しい中傍聴に見えられた方々に、感謝を申し上げます。

11月会議

総務産業常任委員会

◎平成25年度小布施町一般会計補正予算について……全員賛成

・台風18号により千曲川河川敷内の被害復旧について

○農林水産業費（農業振興費）

河川敷内の流木・雑木の撤去と農薬の補助

○土木費（道路維持管理費）

河川敷内町道や橋梁、農地への石や流木の撤去等の災害復旧工事費。



河川敷内で被害を受けた果樹の面積について全額の支援があります。

政策立案常任委員会

◎T P P 交渉に関する要請書……賛成多数

議会の動き

社会文教常任委員会

◎教育委員及び中学校管理者との懇談会

10月16日（水）13：30～から中学校教育等について三者間で意見交換をしました。

・懇談内容としては、「学力向上支援事業」「I T 端末・パソコン授業」「フューチャースクールについての提案」「小中一貫教育」などが話題となり真剣に話し合いました。

・授業参観や昼食も共に食し、元気な生徒たちにふれることもできました。

◎まちとしょテラソ館長との懇談会

10月25日（金）13：30～

デジタルアーカイブ事業・委託事業等々の十分な検証を求めることについて意見交換を行いました。

議員・研修等

11月13日（水）

中野市・小布施町・山ノ内町議会議員親善球技大会を
中野市コミュニティスポーツセンターにて開催する
予定が、山ノ内町で当日前夜の急な降雪による災害があり、中止となりました。

11月19日（火）

須高市町村議会議員研修交流会

会場 小布施町北斎ホール/公民館講堂

講演「食で変えませんか、健康な心と体に

—子どもは賢く、大人は元気に—」

講師 教育食育アドバイザー 大塚貢氏



元真田中学校の校長で「給食で学校改革」を行なった大塚貢氏から食の大切さを学びました。

明けまして おめでとうございます

町民の皆様新春のお慶びを申し上げます。素晴らしい、明るく一年になりますようお祈り申し上げますとともに本年もどうぞよろしくお願いいたします。一昨年の9月会議で懸案の「議会基本条例」が制定され議会活動の要として町民の皆様とともに歩むことを念頭に議員一人ひとりが資質の向上に励み、町民に信頼され、開かれた議会にすべく活動してまいりました。その一例として一般質問を見ますと3月会議13名・6月会議12名・9月会議12名・12月会議13名とほとんどの議員が全ての会議で質問し提言をして参りました。更に議会機能の生命線は議員間討議と位置付け重視し各委員会では審議を深めるため採決の前に全ての議員が自分の

考えを述べられる委員会に变身しました。行政視察に、30議会の議員がお見えになりました。全国の注目議会であることの嬉しさと責任の重さを痛感しました。先の町議会議員選挙が無投票でしたので「議員定数の在り方」に町民の皆様から様々な意見要望が出されました。議会としても「議員定数等検討会」を設置し鋭意研修・検討を進めてまいりました。その結果は現行の14名の答申でしたが、年末・年始に多くの町民の皆様と14名の議員自らが直接ご意見を拝聴し議会として1月に決定してまいります。町民の皆様にとりまして、幸多い年でありますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

年頭のあいさつ

議長 関谷 明生



堀内信子書記

原 勝巳議員

山岸裕始議員

関 悦子議員

渡辺 高議員

小 淵 晃議員

富岡信男議員

関谷明生議長

渡辺建次議員

大島孝司副議長

小林正子議員

川上健一議員

小西和実議員

小林一広議員

三輪 茂局長

小林 茂議員

総務産業常任委員会

条例改正 2 件、補正予算 4 件、和解及び損害賠償の件

◎小布施町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例……………賛成多数
(全て消費税改定による。)

◆小布施町農業集落排水処理施設
基本料金の改定

◆小布施町公共下水道条例
基本料金の改定

◆小布施町営水道条例
基本料金の改定

この条例は平成26年 4 月 1 日から施行する。

◎小布施町公共物管理条例の一部を改正する条例
……………全員賛成 (赤線に関係する。)

Q 国有地から町有地になったのはいつか

A 平成17年 3 月で里道等の移管が終了し、消費税の改定等により見直した。

Q 改正が遅れたのはなぜか。

A 所有権等の移転を検討する中で他の条例等の関係で現在に至った。

◎平成25年度一般会計補正予算……………全員賛成
・公民館の修繕費、巡回バスの燃料費、タクシー券の給付、道路への看板設置等の補正予算の審議をしました。



Q 燃料費の増額は、巡回バスが予算に対して回数が増えたためか。

A それも要因ですが燃料高騰も考慮した。

【町外保育園保育委託料】

Q 町外保育園保育委託料があるが、町内の保育園にとどまるよう話をしているのか。

A 途中転入者が対象でしばらく現在の場所にとの希望で対応している。新年度より入所して頂く。

12 月 会 議



元気な保育園児

◎平成25年度小布施町下水道事業特別会計補正予算
……………全員賛成

◎平成25年度小布施町農業集落排水事業特別会計補正予算
……………全員賛成

◎平成25年度小布施町水道事業会計補正予算
……………全員賛成

◎和解及び損害賠償の額を定めること……………全員賛成

小布施町の法人に対する損害賠償額…2,767千円

Q どの様な事故だったのか。

A 松村の駐車場に雨水浸透枡を 3 基設置してある。満水になった雨水が既存の水路に戻り合流した地点であふれ事故になった。

Q 浸透枡の効果が無いのでは。処理能力はどうか。

A まず、社会実験として付けた施設である。雨水枡、浸透枡の 3 基で完了ではなく、浸透しやすい地質、地層に浸透枡を設置して行くことを目標に計画。効果については水位計を見ると15分間防いでいた。町内各地に施設を増やすことで効果は上がる。

Q 一か所に集めて15分の抑制では意味がない。その結果何倍にもなって増水する。その後の対応は。

A 今回の結果を踏まえ合流点に壁を設置し、また駐車場内に溢れさせ他の水路へ流す。水位の上昇と共に流入速度を遅くし流出量も抑える。

Q 総合保険の補償の対象とは町の瑕疵では。

A 戻し水でここまでの被害の想定ができなかった。合流点では単純に 2 倍になった。制水ではなく乱流として認められ瑕疵が認められた。

社会文教常任委員会

◎「小布施町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」……………賛成多数

Q 第 4 条の改正で、新たに特定するものがあるのか。

A トイレと特定せず、家屋全体の清潔を規定する。

Q し尿処理はまだ相当数の利用者があるが、周知はどうか。

A 3 ヶ月間の P R 期間を設け、周知活動をする。

Q 手数料を150円から170円にした根拠と、170円を外税にした理由は。

A 3 市町村の料金設定懇話会の審議によるもので、外税の理由は、須高行政組合と同じ扱いとしている。

Q 犬猫の死体はどうなるのか。

A 金額1,200円を削除するが、処分行為は町が行う。

◎「平成25年度小布施町国民健康保険特別会計補正予算」
……………全員賛成

◎「平成25年度小布施町介護保険特別会計補正予算」
……………全員賛成



今年の 4 月から、し尿処理の料金が18 L あたり150円から170円に上がります。

※第 4 条中「便所、廃棄物容器等の周囲を常に清掃し、消毒薬を散布する等により、清潔を」を「その占有し、若しくは管理する土地又は建物を清潔に」に改める。

政策立案常任委員会

2 件の請願、 1 件の陳情を審査

◆「特定秘密保護法」制定に反対する請願

……………賛成少数

◆集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する請願

……………全員賛成

◆消費税の増税中止を求める陳情書

……………賛成少数

小布施町議会として下記の意見書を提出しました。

特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書

平成25年12月17日

衆議院議長 伊吹文明 様

参議院議長 山崎正昭 様

内閣総理大臣 安倍晋三 様

総務大臣 新藤義孝 様

法務大臣 谷垣禎一 様

外務大臣 岸田文雄 様

国家公安委員会委員長 古屋圭司 様

長野県小布施町議会議長 関谷明生

地方自治法第99条の規定により、下記のとおり意見書を提出します。

記

平成25年12月6日に「特定秘密の保護に関する法律」が成立しました。

この法律では、秘密保護の対象になり、情報の漏洩に対して罰則等が課せられる特定秘密については、防衛に関する事項、外交に関する事項、外国の利益を図る目的で行われる安全脅威活動の防止に関する事項、テロ活動の防止に関する事項があげられていますが、その指定については、当該情報を管理している行政機関の長に権限が委ねられており、長の判断で、軍事や外交に関する情報や、政府や警察等の不正に関する情報等の重要な情報が特定秘密に指定され、隠蔽されてしまいますという危険性があります。

また国民生活に重要な意味を持つ事項、例えば原発の安全性にかかわる問題やTPP交渉なども、特定秘密に指定されるおそれがあり、これらの情報が特定秘密に指定され、その漏洩や取得、つまり内部告発や取材活動が厳しい処罰の対象になれば、国民は生活にかかわる重要な情報を知ることができなくなります。

以上から、国民の知る権利や言論の自由に対する侵害とあわせ、民主主義の根幹を破壊する重要な内容を持つ「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求めます。



栗ガ丘小学校表玄関

来年は町制60周年という節目の年を迎えます。新たな小布施町の発展と繁栄を願い、町民全ての方々から親しまれ・愛される小学校として小布施小学校への校名変更を提案します。現在の栗ガ丘小学校は完全統合して41年目を迎え昨年は完全統合40周年記念事業が盛会裏に挙行され町民の皆様浸透し定着されていることは十分に理解し承知しています。

三点目は小布施町唯一の小学校なのになぜ「小布施小学校」じゃないのとの疑問に答えられる。

四点目は県大会や全国大会、コンクールに出場したとき一目瞭然小布施町の小学校と理解される。

五点目は平成21年度から幼児・児童・生徒の発達段階に応じたつながりと学力向上に向けた一貫教育がされている。また卒業生は町

「五岳」「逢瀬」の候補から建設委員会において「栗ガ丘」に決定しました。

両校が統一され40年あまりの歳月が流れ、当時の課題や伝統も融和され社会の状況も大きく変わって参りました。

特に近年小布施町の知名度が全国に認知され、小布施町が大きな評価を得ていることを考えますと、



栗ガ丘小学校40周年誌

Q

来年は町制60周年という節目の年を迎えます。新たな小布施町の発展と繁栄を願い、町民全ての方々から親しまれ・愛される小学校として小布施小学校への校名変更を提案します。現在の栗ガ丘小学校は完全統合して41年目を迎え昨年は完全統合40周年記念事業が盛会裏に挙行され町民の皆様浸透し定着されていることは十分に理解し承知しています。



関谷明生 議員

答 提案を重く受け止め検討したい。

（中島教育委員長）

町制60周年を機に「栗ガ丘小学校」を「小布施小学校」に校名変更を

が提案する理由を述べます。

一点目は昨年の記念事業を通じて当時の地域感情や政治的情勢、受継ぐ伝統も融和し解消されている。

二点目は統合当時と今の小布施町は知名度・認知度に雲泥の差があり「小布施」という「ネームバリュー」が全国に広くいきわたっている。

三点目は小布施町唯一の小学校なのになぜ「小布施小学校」じゃないのとの疑問に答えられる。

A

立小布施中学校へ進学している。名は体を表すとおり本質実体に即した校名「小布施小学校」にすべきと考えます。

小布施・都住小学校の統合は場所の選定から校名の決定に至るまで、多くの皆さんの議論を得て、手順を踏み昭和47年に校名も新たに完全統合されました。

校名は公募により「栗ガ丘」

「五岳」「逢瀬」の候補から建設委員会において「栗ガ丘」に決定しました。

両校が統一され40年あまりの歳月が流れ、当時の課題や伝統も融和され社会の状況も大きく変わって参りました。

特に近年小布施町の知名度が全国に認知され、小布施町が大きな評価を得ていることを考えますと、

校名を小布施町唯一の小学校として地名を冠した小布施小学校に変更する時期に来ているのではないかと考えます。

しかし一方町民の中には栗ガ丘小学校で定着しているから変える必要があるのか、との意見もあるかと思ひます。十分に議論を尽くす必要があると思ひます。

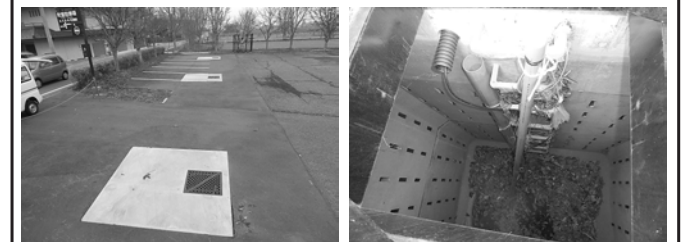
合わせて学校運営の改善も考えていくことが大切です。栗ガ丘小学校の校名変更は、教育委員会では重く受け止めて参りたいと思ひます。

行政へ平成26年度予算要望書を提出

平成26年度予算編成にあたり、下記の5項目について要望を取りまとめ、行政へ要望書として提出しました。

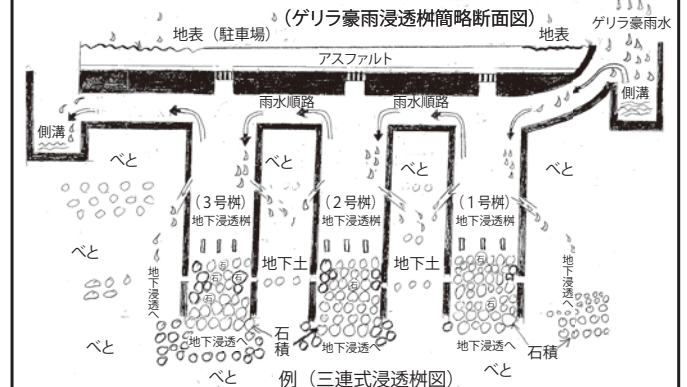
1. 引き続き、計画的な道路整備、浸透枳などの雨水対策を含めた水路整備に努められたい
2. ブランド戦略事業の推進にあたり、町と振興公社の関わりをより明確にされたい
3. 新たな手法を含め、有害鳥獣駆除従事者の確保に努められたい。
4. デジタルアーカイブ事業で、過去に記録された貴重な資料を最大限に活用するための方策を検討し、その活用に努められたい。
5. 委託事業（委託先、委託内容、委託料等）、長期継続契約の適否について十分に検証されたい。

～ 浸透枳ってなあに？？？ ～

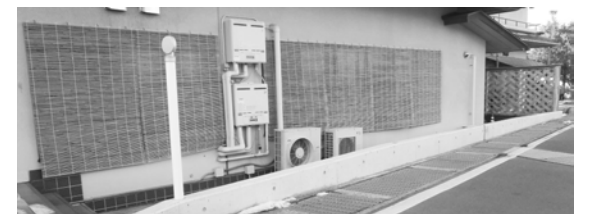


松村駐車場に整備された三連式浸透枳

昨年7月のゲリラ豪雨時に15分間浸透・貯水後溢れてしまい、近隣の法人に被害が生じた。今後水害対策について考えなければいけない。



▲浸透枳断面イメージ



▲災害後に急遽設置した、合流部の溢水対策の壁

ここが聞きたい？

12月会議 一般質問

目次

関谷 明生	7
①町制60周年を機に「栗ガ丘小学校」を「小布施小学校」に校名変更を	
富岡 信男	8
①組織改革と職員の人事異動について	
関 悦子	9
①保育園への入所	
②地球温暖化対策	
小西 和実	10
①速やかに「駅前修景」への着手を	
大島 孝司	11
①第3町並み修景事業の基本構想は	
②学校給食の見直しを	
③生活灯の管理運営について	
小林 茂	12
①年金以外の収入を得る有償ボランティア等の再構築を	
小林 正子	13
①小布施の子どもたちを地域の中で育てましょう	
②中町南交差点など渋滞解消に歩車分離信号を	
③福祉灯油実施を	
川上 健一	14
①有害鳥獣の対策について	
②町民健康診査について	
③ツルヤの現状について	
原 勝巳	15
①自然災害事故から子どもたちを守る通学路の確保について	
②全自治会と多くの方々が参加される町民運動会に	
渡辺 建次	16
①英語力より日本語力の強化を！	
②町内の交通事故増加に対する安全対策	
③道路や水路の清掃	
山岸 裕始	17
①今後4年間の副町長としての意気込みを	
②くりんこ音頭の指導を	
小淵 晃	18
①町表彰規則の改正と弾力的な運用を	
②ふるさと納税	
小林 一広	19
①コミュニティの方向を問う	



富岡信夫 議員

組織改革と職員の人事異動について

答 来年4月に実施したい

（田中総括参事）

組織機構については、地

います。

Q 方分権の進展、少子高齢化、災害時の危機管理対策等時代が変化する中、新たな行政課題や多様化・複雑化する住民の皆さんの要望に的確に対応し、合理的・効率的な事務執行と、柔軟かつ迅速な行政運営をするためには、随時見直しをしていくことが必要かと思

また、嘱託・臨時職員数と報酬・賃金額を3月会議の当初予算審議の際に出された資料で平成23年度と平成25年度予算を比較しますと、平成25年度予算では、嘱託・臨時職員数18人、報酬・賃金額は、2億3千53万7千円で、平成23年度予算と比べて千7百57万4千円の増加となっています。

の専門職を除いた一般行政職員63人中24人が同一部署に4年以上勤務しています。長期間同一部署勤務の弊害として、マンネリ化が進む、新たな発想が出にくい等の指摘があります。このようなことから定期的な異動が必要と考えます。増え続ける人件費対策を含め今後の取り組みを聞かせてください。

つけるための職員の育成を図る面も含め、バランスを考えた異動を来年4月1日には行い、住民サービスの向上につなげていきます。

小布施町では、平成16年から部門制を導入し、多様化するニーズに应运てきましたが、既に9年が経過しています。部門制導入2年後の平成18年4月1日と平成25年4月1日の職員数を町報掲載の役場組織表と比較してみますと、正規職員数はともに95人と変わりありませんが、嘱託・臨時職員数は、102人から161人と59人の増となつて

町長は就任当初から組織機構改革の意向を示していました。基幹産業である農業の振興を初めとする特色ある産業の振興、安心して子どもを生み育てることが出来る子育て支援の充実に重点をおいた、抜本的な組織機構改革が必要な時期にきていると思います。

A 直しを視野に内部検討を始めています。増え続ける臨時職員の対策として、新年度予算策定に合わせて効率的な事務執行ができるよう事業の見直しを進めていきます。



役場事務室の職員の定期的な異動を

保育園への入所

答 保育を必要とする児童全員がサービスを受けられるように対応



関 悦子 議員

Q 小布施町は待機児童ゼロと説明されてきているが、

一時的保育を利用することしかできず、子供を預けて働かなければならない子育て世代の方々の中には通常勤務ができないケースもある。また、今後、ますます未満児の入所希望児童も増加すると予想されている。

（1）来年度の保育園入所希望者は全員入所できるか。

（2）来年度の入所決定は2月頃と聞いているが、入所の可否をもっと早く決定ができないか。

A （1）保育需要に対応できるような職員体制、施設整備を進めています。増加する3才未満の入所を考え、わかば保育園の保育室の増築を検討中です。

（2）入園希望者数を正確に把握するとともに、二つの保育園への入園希望を調整するために期間が必要が必要です。

入園調整など一定の期間を要することから承諾については2月中旬頃お知らせしているところです。なお、2月の時点で入所をお断りする様なことは過去にはありません。

地球温暖化対策

CO₂削減目標を定め、自然エネルギー化を推進する（竹内総括参事）

Q 地球温暖化は、洪水や旱魃など激しい異常気象の増加や、生態系変化、食料生産や飲料水への影響など、物理的被害や人的被害の原因と大いに影響があると考えられている。世界各国では新たなエネルギー開発に取り組

み、実用化が進められている。町でも、自然エネルギーの利活用の研究を始めたが、一日も早く利活用できることが必要。

（1）今年度、フラワーセンタへ設置したスマートソーラー実証機の実証結果と、今後の普及は。

（2）今後の小布施町のCO₂削減の取り組みはどのように。

「小布施を日本有数の環境都市」との提案があるが。

A （1）低炭素社会の実現に向け取り組む一環として、スマートソーラーシステムを設置した。発電と熱利用の両方を目指すデータ収集が目的。今後も拡充を検討していく。

（2）「小布施町自然エネルギー推進計画（仮称）」を策定していく中で、具体的なCO₂削減目標を定め、行動プランを策定していく。自然エネルギー化を推進していくことが、環境都市の実現につながる。



スマートソーラー実証機



がんばる町の保育園



小西和実 議員

速やかに「駅前修景」への着手を

答 方向性が示された段階で一緒に取り組みたい
(八代総括参事)

Q 小布施駅前には電車で小布施を訪れて最初に観る風景であり、小布施の顔として駅前の景観はとても重要な要素である。

いまこそ、小布施らしい駅、小布施らしい駅前にしなくてはならない。「小布施の未来を駅前から作っていく」という高い志が必要。

平成24年度9月会議において、「第二町並み修景事業以後の、今後の町全体の修景事業の展望は？」という質問に対して市村町長は「今後は駅前周辺を検討していく」と答弁している。民間の動向を待つばかりでなく、行政においても国道403号検討会議の際のようにまずは円滑な議論を始めるための場づくりを主導する必要がある。駅前の課題については、今の時代において解決しなくてはならない。

今ここで手を打たなければ、この問題は解決されずに将来において小布施町の脅威となるものであると危惧している。

駅前を今後どのようにしていくのか。具体的な方針や施策とその実施時期を示していただきたい。

A 駅前には既に降り立つ人がまず目にする景色であり町のイメージが決まる場所である。

現状については改善の必要な箇所があると感じている。ただ、修景事業を行うには地域の皆さんの自ら良くしたいという思いが高まり、それを行政が支援していくことが重要と考える。具体的な時期や手法は未定だが、地域の皆さんの議論に方向性が示された段階で町も一緒になって実現に向けた取り組みをしていきたい。



小布施駅前には「小布施の顔」

第三町並み修景事業の基本構想は

答 地域の皆さんの気運の盛り上がりが非常に大切であると思っています
(市村町長)



大島孝司 議員

Q 伊勢町、横町を中心とした第三、第四町並み修景事業が必要であると考えますが、その基本構想は。

A 第一、第二町並み修景事業は、それぞれ地域住民の皆さんが主体になり取り組んだ事業で、それぞれ効果を上げています。景観的に素晴らしいものになり、緑のオープンスペースや回遊路は多くの方の憩いの空間になっ

ています。整備前に比較して売り上げも伸びています。第三町並み修景事業は、駅前を考えたいが、それには地域の皆さんの気運の盛り上がりが必要に大切なことです。

Q 修景事業をどこまで広げていくのか、その終結点はない、修景事業に終わりはない、エンドレスであります。

学校給食の見直しを

学校給食の重要性を改めて認識しています
(竹内教育長)

Q 農業、食品添加物、特に着色剤の亜硝酸ナトリウム、保存料のソルビン酸、防カビ剤のOPPなどと奇形精子、卵子との相互関

係をどのようにとらえているか。

A 学校給食においては、健康に及ぼす様々な影響にも配慮し、食品添加物の入らない食材を推進し、農業や添加物に十分に注意して、安心して安全な食材の供給に努めています。家庭・学校・地域社会が連携して、次代を担う子どもたちの食環境の改善に努めてまいります。

生活灯の管理運営について

生活灯の運営基準が必要であると考えます
(中條リーダー)

Q 道路照明灯の国、県、町の管理運営区別は。
A 国道、県道の照明灯は県が、町道の照明灯は町が管



小布施中学校ランチルームでの給食

理運営しています。

Q マニユアル化の予定は。他市町村では電気料全額を市、町が負担している例があるが電気料助成の考えは。

A 生活灯についての運営基準は必要であり、マニユアル作りをしていきます。

維持管理は原則各自治会にお願いしているが、設置費は町が負担している。LED化を進め、自治会負担の軽減を図っていきます。



第3町並み修得事業が待たれる駅前地区



小林 茂 議員

Q

ボランティアは無償が当然といわれる時代から、最近では有償ボランティア等で高齢者が主役のまちづくりが進められています。その背景には、老人も社会の担い手として積極的に活動しなければ社会自体が維持できないことを認識し始めたことにあります。

小布施町では有償ボランティアの取り組みが以前から行われております。また、シルバー人材センタ―に登録して、持てる能力を日常的に発揮されている高齢者の方も多数いらつしやいます。

スマート・エイジング（賢く年を重ねる）の秘訣は「年金以外の収入を得る」とことと「他人の役に立つことをする」ことであり、老人の社会参画に重要な要素である

年金以外の収入を得る有償ボランティア等の再構築を

答 社協中心でシステム作りをします

（市村町長）

と言われています。年金以外の収入を増やすことにより、生活に余裕とリズムが出て地域における消費行動が活性化されます。このような観点から有償ボランティア等の再構築を。

A シルバー人材センターも含めてこれからの高齢社会に対応するための課題と捉え、町社協を中心にシステム作りを行っています。ニーズの掘り起こし調査を行い、高齢者が意欲的に取組める事業にしたい。

高齢者中心のシステムを

総合的に検討します

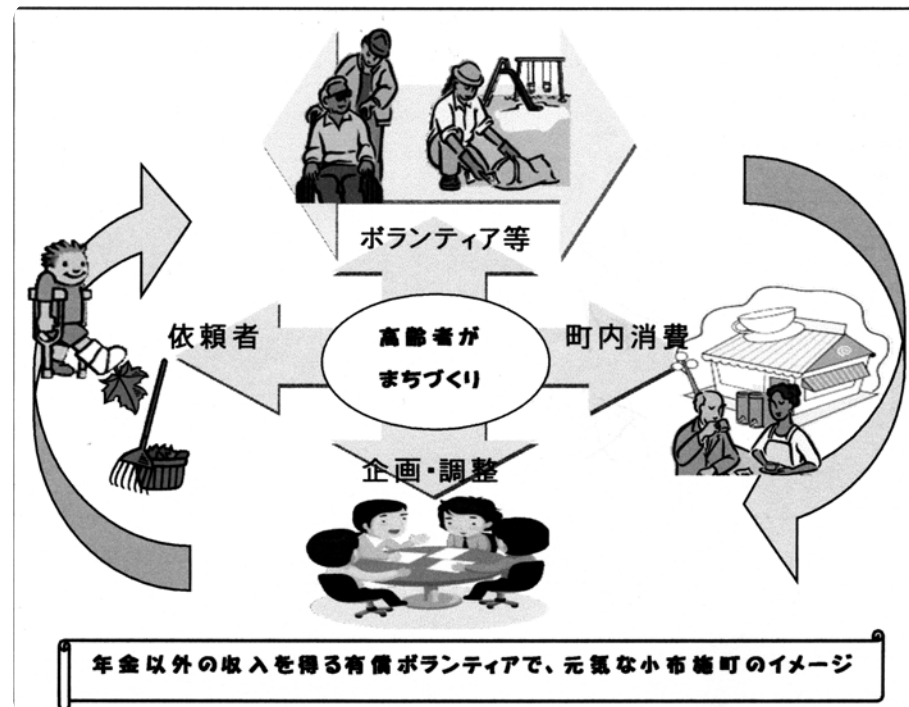
（市村町長）

Q 有償ボランティア等で年金以外の収入を得ても町内で気軽に軽食や喫茶、男性には晩

酌を楽しめるような寄合所がありません。地域全体に有機的なつながりを持たせ高齢者参加型の仕組みが必要と考えま

A 高齢者のみならず全町民が日常的にコミュニケーションの場として気軽に使用できる場の創出など小布施町にとっても必要と認識しています。先進事例などを学び

高齢者が進んで参



小布施の子どもたちを地域の中で育てましよう

答 副学籍 来年度導入、保護者と話し合って進めます

（竹内教育長）

あります。今後も継続します。保護者が送迎しているが防犯に気を付けます。

Q 中学校に町民を支援員として学力向上支援事業があるが、こちらの充実が必要ではないか。

A 数学・英語で実施。教員経験者など改めて募集。支援員、学校と見直しながら推進します。

福祉灯油実施を

動向みて判断します

（久保田副町長）

Q 渋滞は町民生活に影響している。町中心部に作った森の駐車場や北斎館バス駐車場も原因の一つ。来訪車の誘導案内の改善など抜本的な渋滞対策が必要です。

A 観光客の横断も多い。歩行者と車の信号分離も有効ではないか。

403号の渋滞解消のため、通過車両に迂回の誘導をして

Q 「アベノミクス」の影響で灯油は4年前の1.5倍に高騰している。厳冬を迎え町民は所得減少の経済状況で灯油購入に不安。「福祉灯油」を実施いただきたい。

A 平成19、20年度、国が灯油購入補助に対して特別交付税措置するなどあったので実施した。

今、国の支援策は示されていない。今後の経済情勢、灯油価格の推移、国の施策、近隣市町村の動向等を勘案し、必要と判断したときは実施します。

A

4年生以上の利用希望にはしかるべく対応します。おやつづくりは子ども教室の体験で行っています。子ども教室は、保護者や子どもも教室を経験した学生、中学生も大勢ボランティア参加し交流、子どもたちの成長

Q

支援学校・養護学校へ通う小布施の子が、栗ガ丘小と小布施中学校の学校行事に参加でき、共に育つようにする副学籍制度の導入がどう進んでいるか。要綱づくりに保護者の意見を取り入れること。

A

幼・保・小・中の代表者としての段階に入っており、26年4月から実施します。保護者の意向を十分尊重して進めます。

Q

放課後児童クラブの対象を4学年以上にひろげ、児童とおやつづくりにも取り組んだらどうか。子ども教室の成果と方針は。



渋滞の原因はどこに？ 解消策は？
中町南交差点で実態をみて検討しあう町民のグループ
2011年11月5日

中町南交差点など 渋滞解消に歩車分離信号を 提案は公安委員会に相談します （畔上リーダー）

A

通過車両に迂回の誘導をして



川上健一 議員

有害鳥獣の対策について

答 有害鳥獣駆除推進協議会への補助金の増額を各団体と検討していきたい
(八代総括参事)

Q 今年、カラスによる

んごの被害があちこちで増え、カラスを何とかして欲しいという農家の声が寄せられています。数が増え、100羽200羽といった群れで飛来するようになりました。果樹に対する被害を減らすには、猟友会の皆さんにより駆除していただくのが、有効な手段かと思

①有害鳥獣駆除推進協議会への



従業員の3割を小布施の農家から採用しているツルヤ

補助金を増やすことは出来ないか。

②カラスの駆除を優先してお願いできるか。

③食害を防ぐための防鳥ネット設置に対し補助金を出せないか。

A ①増額の検討をしていきたい。②本年カラスの一斉特別駆除を2回お願いしています。

③関係の皆さんのお話を聞きながら検討していきたい。

町民健康診査について

指摘された事項について、実行していただく保健師活動を通じて行っている。(竹内総括参事)

Q 全ての世代の皆さんが、健康で長生き出来るようこ

れからの時代特に町民健康診査の必要性、そして結果に対する医師の指導、保健師による助言・指導等が重要と考えます。

①町民健康診査は対象となる町民全員が受けているのか。

②健康診査の結果に対する、医師の指導が有効に実行される方策は。

③健康診査を受けない方がいるとすれば、その対策は。

A ①18歳から39歳対象が約30%、40歳から74歳対象が約50%、75歳以上対象が約70%の受診率。

②指摘された事項を実行いただくよう、保健師による家庭訪問活動を強化している。

③未受診者には保健師が直接受診勧奨を行っています。

ツルヤの現状について

従業員のうち町内の方が20%採用されている。(八代総括参事)

Q ツルヤが出店して1年が経つが出店に当たり、町内の農家の方を採用するという話どうなったか。また小布施の農産物を取り扱う事はどうなったか。

A 従業員募集の際、町内からの応募が少なく、店内全体の内町内者は20%の採用に留まっている。また農産物については、振興公社を通じ、ブドウ240キロ、生栗120キロ、ブラムリー300キロ、小布施丸ナス660個その他きゅうり等扱っていただいています。



りんごを食害するカラスの群れ

自然災害事故から子どもたちを守る通学路の確保について

答 災害時の事も考え現在検討を進めています
(池田総括参事)

原 勝巳 議員

Q 栗が丘小学校付近での通学路は、大きく分けて三通

りあり、その内、旧小布施小学校正門よりPTA会館横通りの約90メートルの通学路で、耐震強度が心配されるブロック塀があり、出口付近は道幅も狭く、子どもたちに覆いかぶさる様に建ち、ひび割れも何ヶ所か入っており、もう一ヶ所は通学路側に傾いており、その横を毎朝131名の子供達が通っています。最近各地で自然災害事故が多発して

A 大地震等の災害時に、もの事も考えられますので現在検討を進めています。校舎南側の正門の整備とともに、路地を活かした景観と安全性を確保する環境整備について取り組んでまいりたいと思います。

全自治会と多くの方々が参加される町民運動会に

来年の大会に向けオープン参加種目の拡充とPRを (池田総括参事)

Q 第49回町民運動会には2自治会が不参加となり、来年は第50回大会と町制60周年の年になり

全自治会が参加され、オープン参加種目には故郷を想う方、新規就農研修生の方町内に住んでいる外国人の方、小布施に何かしの縁を感じられている方々等が参加され、やがて小布施町に住んでみたい定住促進に繋がる町民運動会にと思うが。

A 来年の町民運動会に向け、参加種目の拡充や自治会単位とは別に有志団体、企業などの皆さん



自治会旗帯同風景

によるチームとしての参加など様々な形態での参加など、運動会のPRも含め、町民運動会実行委員会と各自治会の皆様のご意見を伺って町民総参加の楽しい町民運動会にしたいと考えています。

ており、ここにもと考えるととても心配です。早急に安心安全な通学路確保を。



狭き通学路と子どもたち



渡辺建次 議員

英語力より日本語力の強化を！

答 目的に沿った効果をあげていると考えられています

(竹内教育長)

Q 質問は、英語の早期教育に関する議論を通して、町の教育理念をも問うものです。

現在、2008年の小学校の学習指導要領の改定により2011年4月から小学5・6年生で外国語活動が必修となっています。週1時間が基本で、音声や基本的な表現に慣れ親しめることが目標とされ、クラス担任の指導の下、外国人の外国語指導助手（ALT）を採用しています。

先日、文部科学省は、英語教育を小学3年生から導入する方針であると、信濃毎日新聞で報道されました。そして、その社説では、「進め方が拙速である」という小題で懸念を表明していました。私も全く同感ですので、その一部を引用させていただきます。

「言語学の専門家からは疑問の声が以前からある。慶応大の天津由紀雄名誉教

授は、『使える英語の基礎となる文法を学ぶには、一定の知的発達が前提となる。中学入学時に英語の学習を開始するのが望ましい』と指摘する。また同時通訳者だった鳥飼玖美子立教大特任教授は、『小学校時代は母国語で豊かな表現力を身に付けることが先決』と訴えている。」

というもの。その他、同紙の論考で、医師で作家の夏川草介氏が次のように述べておられます。要約しますと、「思索の土台となる言語（日本語）が、この国において今確実に弱体化している。その一因が、昨今流行の幼少期からの英語教育にある。いまだ日本語さえ未熟な世代（保育園児や小学生）に対して異なる構文を強ければ、思索力そのものを低下させかねない。『国家の品格』の著者藤原正彦氏はその著書の中で『国際的に通用する人間になるためには、まず国語を徹底的に固めなければダメです。』と語ら

れている」というものです。そして、「重要なことは、英語を学んでもなお揺るがない日本語力の構築なのである。」と結論づけられ、英語の早期教育に反対されています。

こうした意見を踏まえ、町のお考えを伺います。

A 外国語指導助手（ALT）の配置は、ネイティブの英語にふれるなど一定の効果をあげていると思います。異文化理解と併せて世界の中で日本人としてよりよく生きていくためには、英語の取り組みは大切なものと理解します。

Q まちとしょテラソを年中無休とし、勉学の間として利用できないでしょうか。（図書館の貸し出しは別）

A 「学びの場」としての図書館機能も検討すべきと考えます。

町内の交通事故増加に対する安全対策

今まで以上に交通安全の呼びかけを行う（畔上リーダー）

Q 特に高齢者に対する交通安全対策は重要課題と考えますが、講習会等を充実します。

A

道路や水路の清掃

連絡を受ければ町職員が迅速に対応（八代総括参事）

Q 主要幹線道路の雑草やゴミの除去について伺います。

A 町職員が須坂建設事務所と連絡を取って対応しています。

Q 用水路の流木やゴミの処理と対策について伺います。

A 取水口にはスクリーンを設けたり、苦情には職員が迅速対応しています。

今後4年間の副町長としての意気込みを

答 重要な職務が多い中、組織づくりが重要と考えている。

(久保田副町長)

Q 町がこれから進むべき方向性を示し、導いていくのが町長の役割だとしたら、その実現に向けてさまざまな面で指揮・調整するのが副町長の最も大切な仕事のひとつと考えます。

小布施町のたたき上げの行政職員として、今まで以上に高いレベルでの仕事を小布施町役場全体として行えるように職員をマネジメントしていただけることを期待しております。

A ところで副町長にお聞きしますが今後4年間どのようなことに重きを置いていくお考えかお聞かせください。

地方の時代と呼ばれ国や県からさまざまな事務事業が移譲され、いわゆる地方分権が進む中、地方自治体には自ら

の知恵と工夫で地域の振興・活性化を進めていく自立性・主体性が求められています。

職員一人一人が、時代を先取りしていく施策を展開していける資質・能力を持つこと、職員が強固に繋がり、それぞれの役割を果たすことで、最大の成果を上げることができる組織になることが必要です。

一番重点に置くのは、町民の皆さんの安定した生活を支えるために、多くの課題を抱えて困難な状況になっても乗り越えていけるだけの能力を持つ組織づくりが重要だと考えています。

その他町長の掲げる政策を補佐して進めていくこと、県や国との信頼関係を築くこと、予算審議においてしっかりと事業の内容が



町民一同が元気に踊るくりんこ音頭

くりんこ音頭の指導を

練習の機会をもてるようにしていきたい（中島教育委員長）

Q 小布施の夏を彩るお祭りの中でも大人から子どもま

で町内の皆さまに最も大勢参加いただけるお祭りの一つが「くりんこ祭り」です。

その中でも特に中学生には全校生徒が参加して協力いただいており、元気良く踊っていただいています。

今まで以上に元気よく踊っていただくために、町から踊りの指導をしていただきたいと考えますが、町の考えは。

A 祭りを通して故郷を大事にする気持ちを育てていきたい。その視点に立って、学校や商工会などに協力を求めて、中学生がくりんこ音頭を踊れるように練習の機会を持てるように調整していきたい。



小淵 晃 議員

町表彰規則の改正と弾力的な運用を

答 規則の改正を含め弾力的に

Q 去る11月3日、公民館講堂において、町「文化の日」表彰式が執り行われ、ご功績のあった5名の方が受賞された。小布施町表彰規則には、第2条で「表彰状」第3条で「感謝状」第4条で「賞状」を、交付するこ

とができると定められています。我が、小布施町には、肩書や職歴はなくとも、地域社会のために、ご尽力されておられる方は多くおられます。そんな一般的な町民の方々の善行へも光を与えることができますよう「表彰規則」の、弾力的な運用を強く望みます。

A 多くの町民の方、若い方が受賞できるよう表彰基準を弾力的に運用していきます。表彰審査委員もご提案にそって、行政関係者以外の方にも加わっていただくようにします。

「ふるさと納税」
産業振興・交流のため、積極的に推進（田中総括参事）



この子たちのためにも「ふるさと納税」

Q 平成20年4月30日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、現在住んでいる自治体以外の市町村に寄付をすることで、寄付をした額のほぼ全額が税額控除される「ふるさと納税制度」が始まりました。

小布施町への「ふるさと納税」は、平成20年～平成24年の5年間で 計74件・約1,200万円の暖かい応援が寄せられた。

しかし、県下には1年間に1億円もの納税があった市町村もあるので、小布施町でも「ふるさと納税」を多くの方にお願ひし、積極的な取り組みを。

A 東京小布施会の皆さんをはじめ、小布施にかかわりのある方に積極的にお願いをしたい。ご寄付を頂く際のインセンティブ（動機づけ）や、寄付者へのプレゼントについても、検討をします。



受賞された5名の皆様

また、表彰審査委員会の委員は、副町長、教育長、総括参事、議会事務局長と定めてあり、委員全員が行政関係者です。で、行政関係以外からも委員に加わっていただくことにより弾力的な運用が進みます。規則の改正を

地 区	自 治 会 名
1 コミュニティ	東町、上町
2 コミュニティ	中町、伊勢町、中央、中扇
3 コミュニティ	横町、福原、栗ガ丘
4 コミュニティ	大島、飯田
5 コミュニティ	林、山王島
6 コミュニティ	北岡、押羽、羽場
7 コミュニティ	六川、中子塚、矢島、清水
8 コミュニティ	中条、松村、雁田
9 コミュニティ	水上、松の実、千両、松川、クリトピア



小林一広 議員

コミュニティの方向を問う

答 町制60周年を機に、コミュニティ制度の在り方を検討

（市村町長）

Q 小布施町には28自治会があります。自治会活動と並行して9地区に分けられたコミュニティの活動も行われています。昭和56年12月に制定され要綱には「住民が、うるおいある住みよい近隣生活を営む事ができる地域社

会をつくるとともに、行政の効率的な運営を図るためコミュニティ地区の組織を定める。」とあります。効率的な運営とは行政として経費の節減が目的のようにも感じられます。各自治会間の連携、コミュニティ間の連携は非常に重要であり大切なことです。不公平感のない、共通の安心できる意識の中で、コミュニティ間の連携が生まれる事が望ましいと考えます。

コミュニティ間で違いがある事に疑問を感じておられる方が大分おられます。そこで、
①コミュニティを導入した当初の目的と現状をどの様に行政は見ているのかまたどのように把握しているのか。
②これからのコミュニティに期待する事、また行政としての様な

コミュニティの在り方を理想としているのか。これからの方向、目的は。
③それぞれのコミュニティには事務の仕事が任されている方がいますが給与、勤務時間等において違いがあるようですが行政としてどの様に考えているか。

A 300世帯を1地区となるように構成し、消防団はコミュニティごとに再編成、地域づくり活動やコミュニティセンターの設備を充実いただくなど一定の成果があったものと考えています。

コミュニティ制度は自治会の役割を補うものであり、自治会でできる事は自治会で、できない事、広域的な事はコミュニティ制度を活用いただく事が望ましいと考えます。

町制施行60周年を機に、コミュニティ制度の在り方を検討していきたいと思っています。給与、勤務時間についてはコミュニティ推進協議会でお決めいただくため、コミュニティごとの実情や事務量により違いが生じる事に問題はないと考えています。

Q コミュニティ推進協議会とはどのような構成で今までの様な協議をしてきたのか。

A 9地区のうち、第1第2地区はコミュニティとしての事業計画が策定されていません。第3から第9地区においては協議会において、年度計画を策定いただき、その活動に対する補助をさせていただきます。そのように事業計画を持ってコミュニティ活動の推進をお願いしていきます。

聴 文 傍 想 会 議 感 **栗ガ丘小学校6年生** 平成25年12月5日、6日に、6年生が授業の一環で小布施町議会12月会議の一般質問を傍聴に来られ、皆さんメモを取りながら真剣に傍聴してました。 紙面の都合で、ごく一部ですが感想文を掲載しました。

小布施町の議会を聞いて 須山夏帆

役場に小布施町の議会を聞きに行った。お話を三つ程聞いた。三つ目に聞いた、「小布施町表彰規則の改正と弾力的な運用を」というのが面白い話だなあと思った。どうし



6年1組の皆さん

てかという、小学生や中学生も、もしかしたら善行をすれば賞状がもらえるかもしれないからだ。「受賞する人は六十才以上の方が八十%。もし、小学生や中学生も受賞できるのだったら、がんばろう!という気持ちに今

よりもつとなれると思う。だから、小学生や中学生も今までの功績を表彰してほしい」と議員さんがおっしゃっていた。また、表彰審査委員会の委員は、副町長、教育長、総括参事、議会事務局長以外の方でも委員に加わっていただけるように、という意見が出て、私もそうだなあと共感した。そうすれば考えの幅が広がるからだ。今日は小布施町の議会を聞いて色々な事が分かったので良かった。

町議会を傍聴して

下田友奈

私が、町議会を傍聴して感じたことは、とにかく話し合っている内容がとても難しかったということだ。難しいことをわずかの時間で質問したり、答えたりしていてすごくびっくりした。その中でも一番理解できた内容は、くりんこ音頭のことだった。

町議会を傍聴して

中澤優梨香

私は、小布施の議会を初めて見た。すごくいいものを見せていただき、

とってもありがたいと思った。議会は、北斎館かもつと遠いところにあると思うたら、とっても近い所にあることが分かった。

私は、来年中学生になるので、くりんこ音頭ができる。くりんこ祭りにはみんなが笑顔になるよいお祭りだと思う。議会で話し合われている様子を見て、中学生になったら私もできるだけくりんこ祭りに参加してみたいという気持ちになった。

議員さんから、ふるさとを大切にする気持ちを育てたいと感じられ、一番「うわあー」と思った。前に出る町長さんは、いつも大変だけど、あんなに話せるのはさすがだなあと思った。私もあんなに話せたらいいなあと思った。今日は貴重なお時間をいただき、傍聴させてもらってありがとうございました。

「小布施町議会を見て」

水野拓音

ぼく達は、小布施町議会へ見学をしに行きました。中に入るととても静かで暖かったです。あまりにも静かだったのでぼくも緊張しました。ぼくは、町長さん達が

自分の席で主張するのかなあと思っていたけど、主張する時には前に出てくるのだと知りびっくりしました。あと地球温暖化対策の事も色々調べて考えているなんて、とってもすごいなあと思いました。

もう一つ気になった事があります。それは、保育所への入所の事です。話を聞いている時に、働く育児世代の女性が社会で活動できるようにと言っていました。それは、とても必要な事だと思いました。

今日は、この議会に行き話を聞いて、色々な大切な事がわかりました。そして、ぼく達も大きくなったらもっと住みやすい小布施町になるように、がんばってみたいと思います。

「小布施町議会を聞いて」

清水まひる

私たちは、今日小布施町議会を聞きに行きました。小西和実さんが「駅前修景」への着手について質問されていました。

実際に訪れた観光客の方が「町並は良いけれど、駅前が。」とか、「小布施駅ってどうやって行けば良いんですか。」と聞

私も、議員さんのように意見をはっきりと言えら大人を目指して行きたいです。

小布施町の議会を見て

齋藤迅人

ぼくたちは小布施町議会を見学してきました。ぼくは行ってとてもおもしろいことが二つありま

議会見学の感想

丸山詩穂

今日(十二月五日)私は議会を見学しました。いろいろな機械がありました。議会は、町の色々な事を話し合う、会議の場なので、今日は保育園の入所や、地球温暖化対策、駅前についてなどを話し合っていました。話している言葉が難しかったりしたけど、きちんと全部聞けたので良かったです。議員さんや、答える人が常に堂々としていて、すごいなあと思いました。こんな風に毎日やっているのは大変そうだなあと思いました。男性も多かったけど、女性もいたので、おどろきました。今日議会を見学して、勉強にもなったし、町のために、いつもこんなに考えてくれているなんてすごいと思います。私も、町のためにできる限りのことをしていきたいです。



6年2組の皆さん

議会見学に行つての感想

鈴木留美奈

十二月五日金曜日に、議会見学に行きました。議会見学に行つて気づいた所は、二つあります。まず、一つ目は、一人の

議員さんが質問している時間は決められている事です。一人の議員さんにつき、質問していい時間は、三十分位でした。発言する人に時間制限があったなんて知らなかったの



6年3組の皆さん

で、気づけて良かったです。二つ目は議員さんの質問の内容が長ければ、議長の人から、「質問の内容を、短かく、そして分かりやすくしなさい。」という事を言われる事です。私は、きつと質問文が長くても、別に何も言われないんだろうなあ、と思っていました。でも、そういう注意は、しつかりするということが分かりました。そして、これからはこの議会見学で学んだ事を、社会の勉強に生かそうと思いました。

議会見で分かったこと

白木悠子

まず、私たちが行つたときにもう議会が始まっていた。とても静かで、音がたてられませんでした。なので、これくらい集中しなければいけないんだな。と思いました。議会のところでは、

いろいろなことが分かってよかったです。授業で勉強をしたり、修学旅行で国会に行つたけど、実際にやっているところが見れてよかったです。そして、少し不思議に思つたことは、時計です。止まっていたり、動いていたりしました。最初は、なんでだろう。と思いました。でも、最後らへんになると、質問者が話しているときだけ、動くということに気づいたので、よかったです。ほかにも、いろいろ発見できたのでよかったです。勉強にもなつたのでよかったです。

「議会を見て……」

神林知隼

金曜日に、ぼくたち六年生を、議会見学させていただきありがとうございました。ちょうど、社会でも勉強していたので、分かる言葉も出てきてい

ました。議会を見るとタイマーが置いてありました。よく見たら、質問してるときには、時間が動いていて、質問に答えるときは、時間がとまっていたのがふしぎに思いました。あと、一つの質問に対して、すごい時間が、かかっていました。それほどこの会議は、大切なんだなということが分かりました。話を聞いていると言っていることが、難しく、分からない言葉もありました。でも、こういう会議は、とても大事なんだなということが本当に分かってよかったです。金曜日の貴重な体験、ありがとうございました。

「議会の話しを聞いて」

湯浅修吉

金曜日に議会を見に行きました。議会は最初はなにをしゃべっているの

か全然分からなかったけど見ているうちに質問する人たちは一人三十分ということが分かりました。答える人たちは町長や副町長たちがいてびっくりしました。くりんこ祭の質問とかもあつてぼくたちも関係あるということが分かりました。それも中学生の話だったので六年生のぼくらは来年、中学生になるのもつと関係があるなと思いました。質問が長すぎて注意されている人もいました。議会のルールは決まっていることが分かりました。名前を呼ばれたらまた自分で名前を言つてその後にまた名前を呼んでいたけどなんで二回も呼ぶのかなと思いました。今、社会の勉強をしていて議会のようすがとても分かりました。勉強になりました。ありがとうございました。

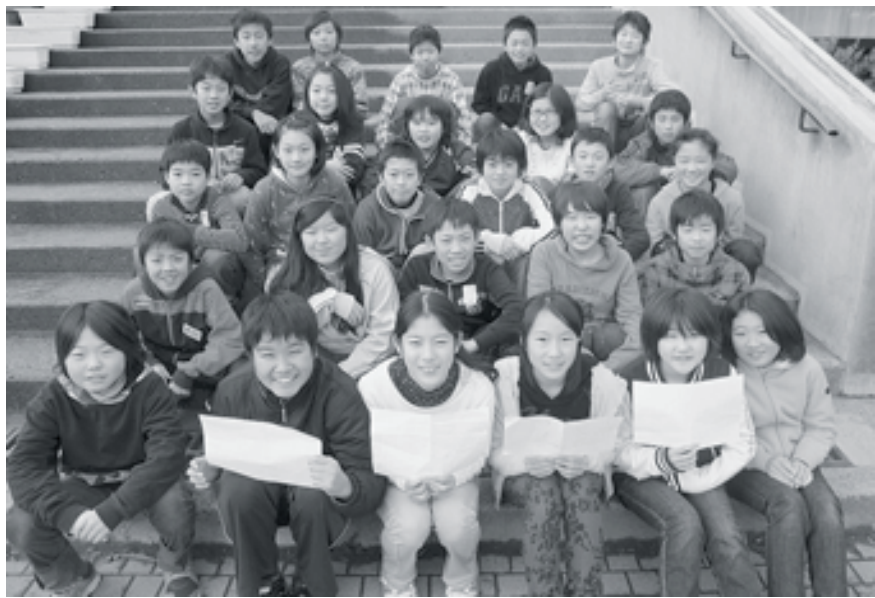
議会見学に行つた感想

米沢俊哉

ぼくが、議会見学に行つた感想は2つあります。1つ目は、地球温暖化対策についてです。この話を聞いて、自動車のはいきガスが25%と、多いことが分かりました。小

布施につとめる場所がある人は、なるべく自転車か歩きで行つた方がいいという事を言っている人を見ていい意見だと思いました。

2つ目は、駅前修景についてです。ぼくは、最初に賛成だと思ったけ



6年4組の皆さん

ど、答える側の人の意見を聞いたら、小布施に住んでいる人の考えや気持ちをちゃんと考えていてすごいと思いました。議会の人達は、これからも小布施のことをしっかり考えて、すばらしい小布施町にしてくれるとぼくは思います。議会を間近で見ることが出来て本当によかったです。とてもいい見学になったと思います。

町議会を見学して分かった

鈴木あおい

まず最初におどろきました。大人の方の話し合いと子どもの話し合いは、全然ちがいました。言っている事がすごく難しそうですね。大人の方の会議はくわしく、きちんと言っていて、さすが町議会だなあと思いました。小布施にもいろいろな問題があることを初めて

知りました。その問題を解決に導いてくれるのがこの議会で、色々な事を言いあっているというイメージが強かつたので、みんなで話し合つて解決していくのが議会だと分かりました。メモを見返して見ると、質問などをくわしく考えているなあと感じてしまいました。この議会を聞いて多くの事が分かりました。町長さん、議員さん、そして町役場のみなさん、ありがとうございました。

町議会傍聴をして

岡崎穂花

今日町議会を見学して議員さんたちが小布施を変えているんだなと思いました。町の人のために議員さんたちがどれだけ本気になるかということが分かりました。質問している人は、未

来の小布施を思つて言っていて、今の小布施をこえる小布施を目指していることが分かりました。わたしはこんな思いで仕事をしている人たちがカッコいいと思いました。町長さんが進んで質問に答えていく姿もカッコ良かったです。

町のために協力する姿はすごいと思いました。観光客にこの小布施を楽しんでもらうために駅を変えとか、そのような運動は、とてもいいと思いました。

議会を見ての感想

長澤佑香

議会の中へ入ると、国会議事堂を小さくしたような感じでした。「駅前修景への着手を」

という質問は、私がいちばん気になっていた質問でした。私も前から、小布施駅はほかの駅に比べてほしいです。ですが、そう簡単にはできないそうです。大切なのはその地域の住民の意見だと述べていました。

議会の人たちは、必ず、小布施住民の意見を大切にしながらがんばっています。私たちにとって、とてもありがたいことです。きちんと小布施町みんなの気持ちになって、もっと小布施町をよくしていこうとしています。

私たちも、ぜひ、そんな議会のみなさんに協力し、身近なところから、小布施らしい明るい町づくりを目指して行きたいです。